

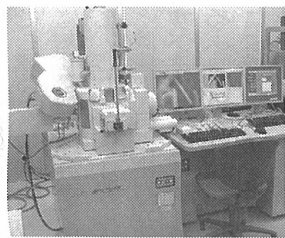


オオスミ 社長

大角武志氏

おおすみ たけし

「ゆあらぼ」で使用する電子顕微鏡



「ゆあらぼ」で使用する電子顕微鏡

「ゆあらぼ」で使用する電子顕微鏡

——昨年の分析事業の業績と今年の見通しは。

「建設系の仕事が減ったことから、当社も一部のサービスで業績は低下した。しかし、土壌関連業務は引き続き信頼され、仕事が回らないほどの状況で非常に忙しい」とは本当にありがたい。

この原因は、顧客が分析・調査の会社を真剣に選び出したと言っている。ではないかと喜んでいる。顧客には価格だけではなく、信頼できる機関を選んで欲しいと思う。分析を外部に再委託し、商社的な機能を持たず会社も増えていると聞くと、本来分析機関は自社測定が基本であるはず。計量法等の法的要求事項である場合は当然ではある。その意味では顧客や自治体

にも、機器の所有状況、運用状況、分析室の管理状況、分析技術者の技術力などを見に来てもらいたい。非常に安価な分析単価だけで勝負する会社ではなく、技術力を持った信頼できるパートナーとして活躍したい。

当社ではクロスチェック等の外部精度管理を多く行なっていることも、QMSを利用し、技術者の教育システムに変えていく仕組みづくりを生かしている。さらに同業優良企業が集まって業界活動を起している。神奈川県や横浜市をはじめ、神奈川県や横浜市をはじめとする県内の自治体には、定期的に来てもらって技術審査を行なって指導をしてもらえよう、神奈川県環境計量協議会や横浜市環境技術協議会を

通じて働きかけている。発注に関しては、神奈川県は環境計量にも最低制限価格を実施しているが、横浜市や他の自治体にも制度改善の要望を出している。また分析機械の更新時により良いものを導入できるように、展示会や協会のセミナー等で情報収集をしている。

今年はお社全体で15億は「ゆあらぼ」、環境部長にエネルギー関連事業や海外事業を加えた新規事業で、売り上げが確保できるようにしたい。

「環境部長」は、環境関連の多種多様な規制対応で専任者を置くことが難しい中小企業向けに、環境部長の役割を代行するもので、分析・測定をはじめ省エネ法対応とエ

鋭の走査電子顕微鏡を活用したもので、顧客の技術者に当社のラボへ来てもらい、当社の技術者と一緒にを行う。分析が早く、顧客自ら確認しながら取りたいデータをその場で取得できる。新商品開発や製品不具合の分析等において時間短縮ができるので、顧客にとってトータルコストの低減

やコンサルタントの計測をする仕事だが、民間企業の海外事業部へのサポートも行なっている。さらに現地への教育も行なっている。

「昨年、グレイスとともにセミナーを行なったそうだが成果は。」

「企業のCSRと環境管理について2人の講師にお願した。顧客は半人が多く受講した。セミナーでは、法令違反の事件がいまだに多く、企業トップの姿勢、担当者の認識不足も指摘されている。法・条例を知りながら予算などの要因で取り組めない場合と、環境規制が多様化している現在、専門人材がない中小企業では、把握しきれない状態である場合がある。事後にアンケートをとったが、海外環境規制の関心が高かった。

企業のCSR業務を支援

電子顕微鏡分析でサービス中

6千万円の売り上げを目標にしている」

「新規事業の現状は。」

「また採算に乗るまでには追いついていないが顧客は増えている。今年

エネルギー関連の測定やコンサルティングも行っている。対応策の提案から各種報告書の提出まで行なう。

一方の「ゆあらぼ」は、当社が導入した最新

「1月の平日に限り、『ゆあらぼ1時間無料サービス』を展開する。予め試料を送っておけば当社で前処理をしておき、当社に出向いた1時間を走査電子顕微鏡が技術者立ち会いのもと自由に使える。この機会にぜひ問い合わせを願いたい。」

「ゆあらぼ」で使用する電子顕微鏡

「ゆあらぼ」で使用する電子顕微鏡